

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ キョヌとチンニョ

年齢 ・ ようじ (3~5さい)

主題 ・ もくひょう：じぶんがあたえられたしごとを、せきにんかんをもって
することをする。
・ しゅだい：せきにんかん

キーワード ・ あい、たなばた、ぼくどう、ゆらいのおはなし、あまのがわ、ねんじ
ゆうぎょうじ、はたおり

韓国文化 ・ もくひょう：かんこくのなつのせっくである、たなばたについて
まなぶ。
・ ようそ：たなばた

韓国語

- ・ もくひょう：きょうみをもっておはなしきいて、ひこぼしとおひめ
があうひについてまなぶ。
- ・ たngo：견우 (キョヌ)、직녀 (チンニョ)、칠석 (たなばた)
- ・ ひょうげん：
견우와 직녀는 칠석에 만나요.
(キョヌとチンニョはたなばたにあう。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
"キョヌとチンニョ"です。
キョヌ(ひこぼし)はてんごくでうしをつれたぼくどうです。チンニョ(おりひめ)
はふくじをつくっていたひめでした。ふたりはひとめぼれして、おたがいをあい
するようになりました。しかし、キョヌとチンニョはいちねんにたったいちにち
だけ、あうことができるといいます。どうして、いちにちだけあうようになったの
か、おはなしのなかにいっしょにはいってみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

"キョヌとチンニョ"のおはなしのなかへ、しゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

はるかとおいむかし、てんごくのおうさまにはやさしく、うつくしいむすめがひとりいました。ふくじをじょうずにつくったので、チンニョとよばれました。てんごくのひとびとはチンニョがつくったふくじで、ふくをつくってきました。

てんごくにはなのかおりがあふれる、はるがきました。チンニョはのはらのきれいなはなたちをとってきて、ふくじにししゅうすることにしました。チンニョはきゅうでんのそとにあるのはらにでました。そのとき、とおくからうしのむれをつれている、ひとりのだんせいがみえました。かれはうしをつれて、はっぱでふえをふきました。チンニョはくさぶえのおとに、すっかりききいってしまいました。

“あ、くさぶえのおとが、わたしのころをひびくなあ。”

くさぶえをふいていたおとも、チンニョをみてすぐにチンニョにころをうばわれました。

“わたしはうしのむれをつれたぼくどう、キョヌといいます。”

キョヌとチンニョはおたがいみてすぐにひとめぼれして、すきになりました。チンニョのむこがねをさがしていたおうさまも、うしをいっしょうけんめいにせわするキョヌを、とてもきにいりました。ふたりはてんごくでひとびとにいわいてもらいながら、けっこんしきをあげました。ふうふになったキョヌとチンニョは、しあわせなじかんをおくりました。

“チンニョさま、おてんきもいいので、おはなをみにいきましょうか？”

“キョヌさま、うしをみなければいけないのではないですか？”

“うしはのはらにはなしておけば、かつてにちゃんとすごしますよ。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

キョヌとチンニョはしなければいけないしごとをわすれて、まいにちまいにち、やまとのはらにあそびにでました。

“ふくじはいつつくり、うしはだれがめんどうをみるのかと、あんなにまいにちあそんでいるのか?”

“ほほほ、いまがいちばんいいときですからね。すぐにまた、しごとをしますよ。”

てんごくのひとびともさいしょはキョヌとチンニョがあそぶすがたをあたたくくみまもりました。

しかし、じかんがすぎても、ふたりはあそぶだけでしごとをしませんでした。

“ふくじがすべてなくなって、ふくをつくることができないよ。”

“うしたちがくさをたべないから、げっそりやせているよ。”

てんごくのひとびとは、それいじょうがまんができずにおうさまにいいました。このことばをきいたおうさまは、とてもおこりました。おうさまはキョヌとチンニョをよんで、ふたりにおおきなばつをあたえました。

“おまえたちふたりは、すぐにきゅうでんのそとにでてべつべつにくらせ! チンニョはあまのがわのにしがわに、キョヌはひがしがわにくらして、いちにちもやすまないではたらくのだ!”

やっとまちがいにきがついたキョヌとチンニョはなみだをながして、ゆるしてもらおうとしました。そしてまちがいにくやんで、いっしょうけんめいにはたきました。そのすがたをみたおうさまは、いちねんにたったいちどだけ、ふたりがあえることをゆるしました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

そのひがちょうど、きゅうれきの7がつ7にちで、たなばたでした。ふたりはたなばたをまって、いっしょうけんめいにはたらきました。

じかんがすぎて、やっとたなばたになりました。キヨヌとチンニヨはすぐにあまのがわにはしっていきました。しかし、ぎんいろのかわはひろくてふかく、わたることができませんでした。キヨヌとチンニヨはおたがいのなまえをせつなくよんで、わあわあとなきました。ふたりがながしたおおくのなみだが、もりとむらのすべてをみずびたしにしまいました。

“これはどうしたことなのか？せかいがぜんぶ、みずびたしじゃないか。”

“これはキヨヌとチンニヨがおたがいにあえなくて、かなしくてこぼしたなみだだ。”

ちじょうにすんでいたひとびととどうぶつたちは、たなばたになるとおおくのあめでこうずいにあうことになりました。

そしてまた、じかんがすぎて、つぎのとしのたなばたになりました。キヨヌとチンニヨはあまのがわをあいだにおいて、おたがいのまなえをよんで、なきはじめました。

そのときでした。カラスとカササギがとんできて、あたまをあわせてながく、じょうぶなはしをつくりました。

“キヨヌさま！チンニヨさま！すぐにあまのがわをわたってください。これからわたしたちがはしをつくってあげます。”

カラスとカササギがつくったはしのおかげで、ふたりはついにあうことができました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“キヨヌさま!ううっ、あいたかったです!”

“チンニョさま、このあいだ、どうすごしましたか?”

やっとあえたふたりは、うれしさのあまりなみだをこぼしはじめました。そして、そらのしたにしとしと、あめがふり、じめんをぬらしました。ひとびとはカラスとカササギがつくったはしをうじゃくきょうとよび、かんしゃしました。

まいとしたなばたになると、キヨヌとチンニョはうじゃくきょうのおかげでうことができるようになりました。いまでもたなばたになると、あめがふります。ふたりがこぼすよろこびのなみだのせいですね。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

キョヌ（ひこぼし）とチンニョ（おりひめ）はいちねんにいっかいだけ、あうことができました。そのときキョヌとチンニョが、あまのがわをわたることができるようにてつだってくれるともだちがいましたよね？そうですね。カラスとカササギがはしをつくってくれました。そのはしをうじゃくきょうとよびます。そのため、あいするひとびとがおたがいにあうことができるようにたすけるひとびとを、うじゃくきょうとよんだりします。

みなさん、キョヌ（ひこぼし）とチンニョ（おりひめ）がいつ、あうことができるか、おもいだせますか？

そうですね。キョヌとチンニョはたなばたにあいます。たなばたはきゅうれきの7がつ7にちです。むかしはたなばたにじょせいがふくじをつくる、はたおりをしました。チンニョのように、ししゅうがうまくなるようにしてほしいとおねがいしました。またたなばたがすぎると、しめっぽいふくをかわかしたりしました。

たなばたにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、もうおしまいのじかんです。"キヨヌとチンニョ"のおはなし、たのしかったですか？

おたがいをあいしたキヨヌとチンニョはうけもったしごとをしないで、あうことができなくなりました。みなさんもじぶんがひきうけたしごとがあれば、さいごまでできるようにしてください。がっこうでもいえでも、ともだちのあいだでも、せきにんかんをもって、ひきうけたしごとをさいごまでできるみなさんになってください！



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！